

令和 3 年度の年金広報計画 (厚生労働省)

令和3年3月11日
厚生労働省年金局総務課
年金広報企画室

1 年金広報の基本方針

年金広報をめぐる環境変化を踏まえつつ、一人ひとりの選択を支援し、適切な行動を促す役割を果たすためには、今後、年金広報の改善に取り組んでいく必要

1. 技術革新への対応、きめ細かさ・わかりやすさの改善等

- 適切な選択に資するような、わかりやすい広報を追求
- 新しい手法の活用等により、一人ひとりの多様な状況（世代や職業など）にきめ細かく対応した情報提供等を実施し、さらに行動を支援

2. 公的年金と私的年金を合わせた総合性の強化

- 公的年金・私的年金やその他の資産形成手段について、幅広く情報を提供し、自分に相応しいものを選択できるようにする
- 行政内部だけでなく金融機関なども含めて、連携体制の構築を図る

3. エビデンスに基づいた広報のあり方

- 一人ひとりのニーズを正確に把握した適切な行動につなげる

4. 効果把握・PDCAサイクルの強化

- 広報が適切な選択・行動につながったかを把握し、PDCAによって絶え間なく手法等を改善

1 - 2 年金制度に関する周知・広報のこれまでの主な取り組み

1 国民1人1人のライフスタイルに合わせて情報が探しやすい広報

年金制度・手続や老後の資産形成についての情報が、個人のライフスタイルに応じて簡単に探せるよう、適切な情報の入り口として「年金ポータル」を設置



2 公的年金制度の仕組みや将来の見通しが分かりやすい広報

■ いっしょに検証！ 公的年金（マンガ・解説）



3 年金の手続きが視覚的に分かりやすいパンフレット・リーフレットによる広報

■ 受給者用
年金請求書同封
リーフレット

■ 若年者用
国民年金パンフレット



4 国民1人1人が参加して年金制度の意義や仕組みの理解を深める広報

■ 年金広報コンテスト

次代を担う若い世代と一緒に年金について考えることを目的に「令和の年金広報コンテスト」を開催。



■ 「学生との年金対話集会」

学生と厚生労働省（年金局）職員が年金について語り合うことを通して、学生に年金の問題について考えていただくとともに、学生からの意見や指摘を今後の年金行政に活かしていく



2 令和 3 年度の広報

2 - 1 令和3年度の取組み

令和元年度に掲げた基本哲学を踏襲しつつ、令和3年度は令和2年度に作成した広報コンテンツを活用した発信を行うとともに、引き続き「令和2年年金改正法の広報」、「個々人の年金の「見える化」」及び「若年世代への広報の強化」の3本柱で展開

1. 令和2年改正年金法の広報

- 被用者保険の適用拡大
- 受給開始時期の選択肢拡大 等

2. 個々人の年金の「見える化」

- 令和2年改正年金法の趣旨をわかりやすく正確に伝え、かつ、公的年金、私的年金等を通じて個々人の現在の状況と将来の見通しを全体として「見える化」するための仕組みを構築

3. 若年世代への広報の強化

3 - 1 公的年金制度の仕組みをわかりやすく、正確に理解するための教育コンテンツの開発

- 中高生向け年金教材の作成

3 - 2 国民1人1人が参加して、年金制度の意義や仕組みの理解を深める広報

- 第3回令和の年金広報コンテストの開催
- 学生との年金対話集会の実施

2-2 令和3年度における年金制度に関する周知・広報の主な取り組み

1 令和2年改正年金法の周知

- 「社会保険適用拡大特設サイト」を活用し、インターネットでの情報発信や、業界団体と連携した普及・啓発、「専門家活用支援事業」などを行う。

＜特設サイト＞（令和2年度制作） ＜ガイドブック＞



2 Webアプリの開発

- 個々人の年金を「見える化」するため、令和3年度前半にWebアプリの試作版を開発し、年度後半にテスト（実証実験）を行う。なお、運用開始は令和4年4月（予定）。



3 若年世代向け学習教材の開発

- 令和2年度に制作した「年金のひみつ」や「クイズ動画」を活用して広報を実施する。令和3年度は、中高生向け学習教材（オンライン）の開発を行う。

小学生向け

中高生向け

大学生向け～

- 年金のひみつ（令和2年度制作）



- クイズ動画（令和2年度制作）

QuizKnock

- 「学生との対話集会」

令和3年度制作予定

- 中高生向け学習教材

- 財政検証HP改訂

4 若年世代向け参加型広報

- 年金広報コンテスト

次代を担う若い世代と一緒に年金について考えることを目的に「令和の年金広報コンテスト」を開催。

＜大臣賞受賞作品＞
ポスター部門



- 「学生との年金対話集会」

学生と厚生労働省（年金局）職員が年金をテーマに語り合うことを通じて、学生が年金について考えるきっかけにするとともに、学生からの意見や指摘を今後の年金行政に活かす。



オンラインを活用した
学生との対話集会

■ コンテストの目的

- ・次代を担う若い世代の皆様と一緒に、年金（公的・私的）について考えることを目的として、ポスター部門、動画部門の2部門で年金の広報に関する作品を募集。

※日本年金機構「わたしと年金」エッセイと同時期に実施。

■ 応募期間

- ・令和3年6月1日（火）～9月10日（金）

■ 賞

- ・部門ごとに厚生労働大臣賞、年金局長賞、協賛特別賞等を授与予定。

※協賛団体は日本年金機構、年金積立金管理運用独立行政法人、国民年金基金連合会、企業年金連合会、公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構を予定。

■ 審査手続

- ・第1次審査は、年金関係団体と協力して厚生労働省において事務的に審査。
- ・その上で、外部有識者からなる「年金広報コンテスト審査委員会」での審査を経て各賞決定。

■ 各賞の発表等

- ・受賞作品は、「年金の日」（11月30日）に厚生労働省ホームページにて発表予定。
- ・厚生労働大臣賞については、表彰式を開催する予定。

※第2回は新型コロナウイルス感染症の影響で開催していない。

■ 趣旨

学生と厚生労働省（年金局）職員が年金をテーマに語り合うことを通じて、学生が年金について考えるきっかけにするとともに、学生からの意見や指摘を今後の年金行政に活かす。

■ 概要

- ・ 全国各地の大学などで開催（対面開催、オンライン開催）
- ・ 年金制度の説明を行った後、座談会形式で年金をテーマに学生と職員が意見交換
- ・ 開催後、厚生労働省ホームページや大学・市町村の広報誌等で様子を公表

■ 応募期間

- ・ 令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）

■ 開催実績

（令和元年度：6校）

5月12日	愛知県立大学
7月25日	北海道大学
7月30日	東北公益文科大学
9月25日	県立広島大学
10月3日	帝京大学
10月8日	大妻女子大学短期大学部

（令和2年度：9校）

10月30日	東北大学
11月13日	帝京大学
11月17日	熊本大学
12月4日	福岡大学
12月9日	愛知県立大学
12月11日	高崎経済大学
12月22日	東北公益文科大学
1月12日	成城大学
1月19日	横浜国立大学